

「山の宝でもう1杯」プロジェクト しまね協働実践事業の成果

津和野町での取り組み

「山の宝でもう一杯！」プロジェクト取り組みのきっかけ

(山林の状況)

- 長引く木材価格の低迷により、手入れ不足で間伐遅れの山林がたくさんある。(私有林の人工林6,300ha)

(昔はどうだったの?)

- 昔は、「自分の山は自分で管理する」「自分ひとりで管理できなければ寄り合い(協働・地域コミュニティ)で助け合う」ことで山を手入れしてきた。

(今はどうか?)

- 森林組合等の事業体を中心に間伐等を実施しているが、手入れが行き届かない。

(どうすれば...)

- 自伐林家等の復活、自治会等の地域グループの出現

(現在のC材価格)

- スギ・ヒノキ 2,000円~3,000円/t これでは、搬出経費がでないので、手入れをしない

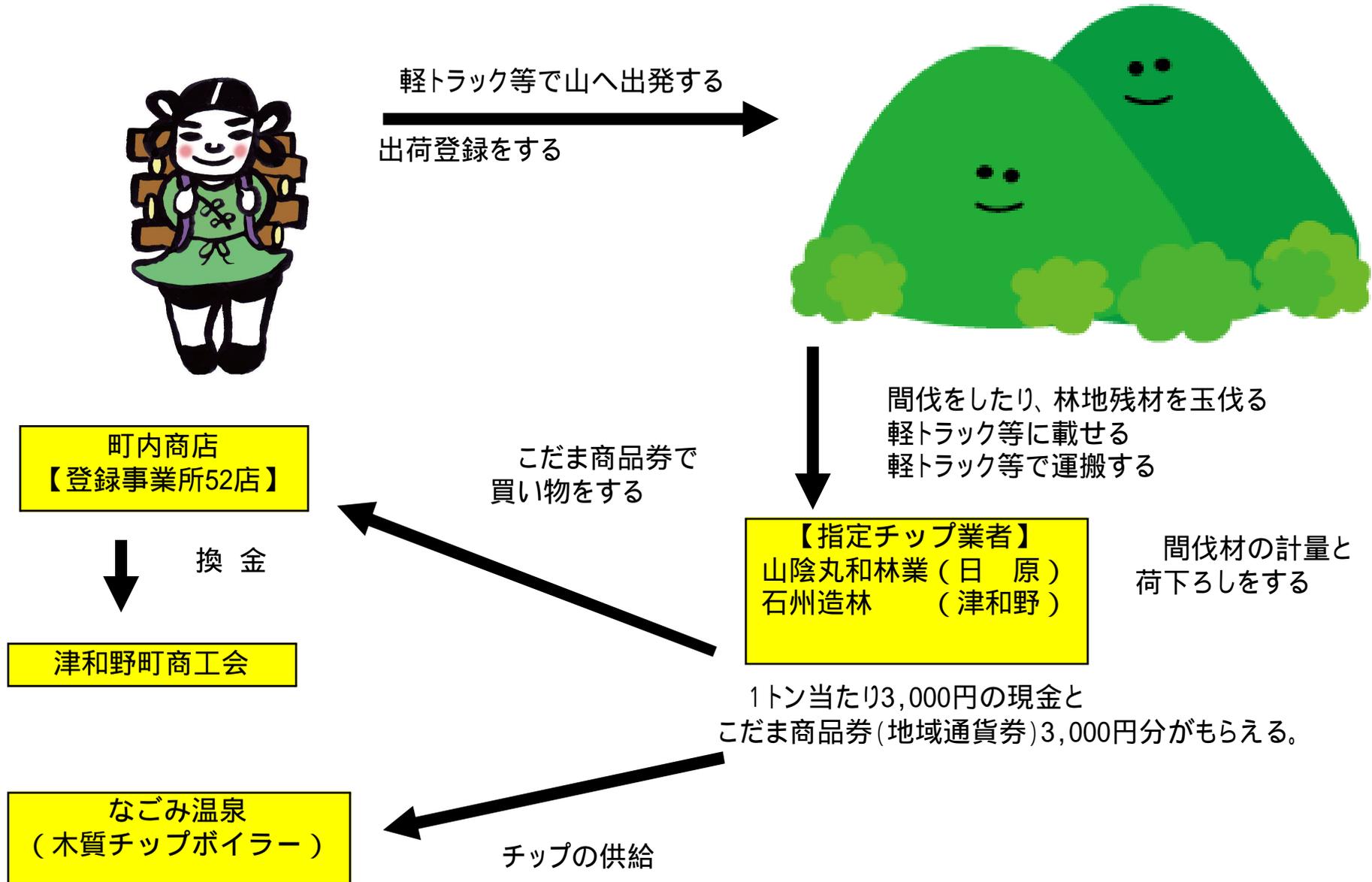
(何か良い方法はないか?)

- 土佐の森方式(モリ券)の取り組みを知る 町が3,000円/t こだま商品券(地域通貨券)の助成

(プラス効果)

こだま商品券の発行により、町内商店の活性化が図られる

「山の宝でもう一杯！」プロジェクト イメージ図



事前アンケートの結果(7月22日実施)全戸配布 回収 831戸 回収率23%

Q家でストーブやお風呂などに薪を使っている (231戸)

Qその薪はどこで調達していますか? ...自家山林から伐採(176戸)他人から譲渡 (43戸)

Qどんな林業機械を持っていますか? ...のこぎり・なた(489戸) 草刈機(483戸)
チェーンソー(431戸) 全くない(32戸)

Q所有する山林に行く日数は? ...年10日未満(170戸) 年10~30日(80戸)
昔行ったことがある程度(133戸) 行ったことがない(52戸)

Q山林を手入れする予定がありますか? ...予定あり(57戸) わからない(89戸)
予定なし(276戸)

Qこのプロジェクトに参加しますか? ...参加する(47人)
周囲の様子を見てから決める(42人)

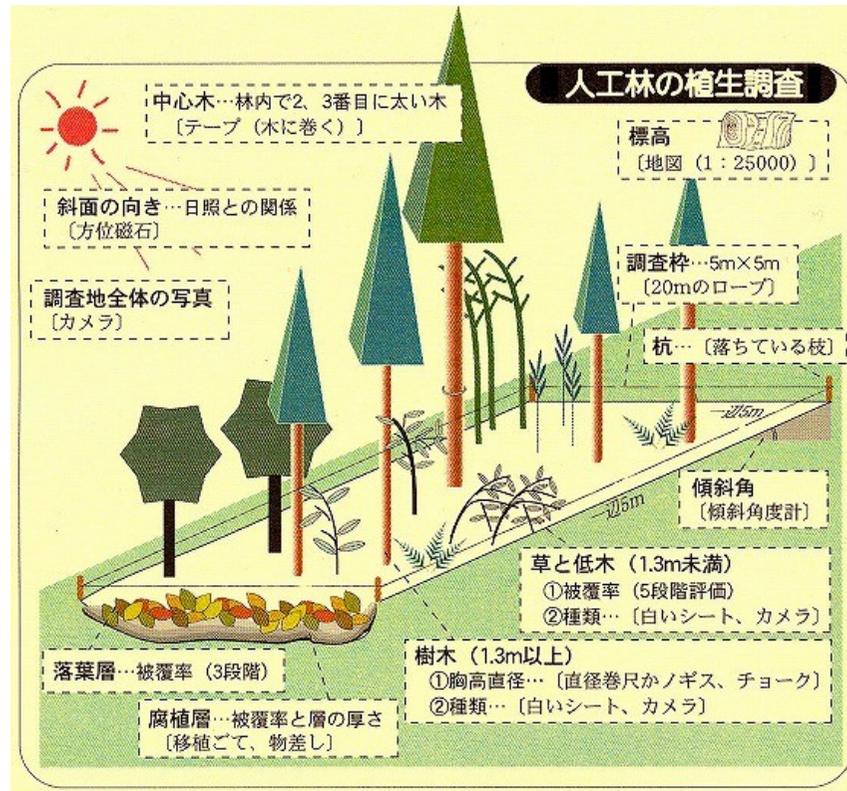
8月28日(日)、先駆者の丹羽健司氏の講演「森の健康診断から木の駅へ」を中心としたオープニングイベントを開催。鳥取県智頭町で木の駅プロジェクトに実際に参加された方の体験談も語られた。参加者80名。



9月19日(祝)に、森の健康診断を実施、台風接近の悪天候の中、参加者45名で6地点の調査を実施しました。この日調査出来なかった6地点を10月10日(祝)に有志15名で調査しました。



地区住民と近隣都市のサポーターの参加により森の健康診断の実施



●第1回津和野町「森の健康診断」9月19日								
班		調査地	種類	草と低木	林分形状比	ha 当りの本数	相対幹距(Sr)	
1	午前	津和野町後田	スギ/ヒノキ	4-7	96	1300	15.3	過密
2	午前	津和野町名賀	スギ	4-5	74.58	1800	11.55	超過密
3	午前	津和野町越原	スギ	8-10	73.45	1300	11.89	超過密
4	午前	津和野町日原	ヒノキ	2-18	65	1300	23.04	適正
5	午前	津和野町中間	スギ	8-6	71.17	1500	9.72	超過密
6	午前	津和野町柳	ヒノキ	4-9	87.9	2100	12	超過密
●第2回津和野町「森の健康診断」10月10日								
班		調査地	種類	草と低木	林分形状比	ha 当りの本数	相対幹距(Sr)	
1	午前	津和野町田二穂	ヒノキ	7-10	86.3	2300	13.1	超過密
	午後	津和野町笹山	スギ	12-10	82.12	1100	13.09	超過密
2	午前	津和野町元郷	ヒノキ	4-12	64.6	1700	14.5	過密
	午後	津和野町相撲ヶ原	スギ/ヒノキ	9-26	68.6	1200	20.8	適正
3	午前	津和野町下野中	スギ/ヒノキ	7-12	61.5	1200	13	超過密
	午後	津和野町下小瀬	ヒノキ	3-9	65	1600	19	適正



10月1～2日参加者80名、8～9日参加者40名、22～23日参加者30名と3回の伐木・造材・集材の安全研修を実施、チェーンソーの目立てから集材まで、たくさんの山主さん達が安全な作業技術の研修をしました。



「山の宝でもう一杯！」プロジェクト社会実験の結果

出荷量

当初の目標150tをはるかに超えて237.84tの出荷となりました。

こだま商品券の発行数

合計で708枚のこだま商品券を発行(708,000円分)

	10月	11月	12月	計
山陰丸和	14.39 t	51.17 t	48.18 t	113.74 t
石州造林	1.95 t	24.77 t	93.35 t	124.10 t
計	16.34 t	79.97 t	141.53 t	237.84 t

	10月	11月	12月	端数	計
山陰丸和	42枚	147枚	138枚	11枚	338枚
石州造林	3枚	84枚	267枚	15枚	369枚
(端数調整)				1枚	1枚
計	45枚	231枚	405枚	27枚	708枚

出荷登録者

合計**28人**の登録がありました。団体として堤田自治会が8人のグループで参加しました。

10月1日	10月末	11月末	12月末
10人	14人	4人	0人
計	24人	28人	28人

出荷登録者の年代

60代(15人)70代(5人)と**60代以上**が22人で78%を占めている。

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
人数	1人	2人	1人	2人	15人	5人	2人	28人

取扱登録事業所

52店舗の事業所が参加してくれました。

10月1日	10月末	11月末	12月末	1月末
41店	9店	1店	0店	1店
計	50店	51店	51店	52店

出荷登録者アンケートの結果(1月20日実施) 20人回答

Qプロジェクトを何で知りましたか？ ...広報(17人85%)

Qプロジェクトに参加した理由は？ ...森林整備のため(14人70%) 小遣い稼ぎのため(0人)

Q参加前の印象は？ ...面白そう(12人60%) 小遣い稼ぎのチャンス(7人35%) できるか不安(7人35%)

Q参加後の印象は？ ...またやりたい(14人70%) 面白かった(8人40%) 小遣い稼ぎができた(4人20%)

Q何を使って運搬しましたか？ ...軽トラック(16人80%) 運搬してもらった(3人15%)

Q出荷について良かったことは？ ...山がキレイになった(13人65%) 短材でも出荷できるのが良い(9人45%)

Q林地残材の買取価格はどうだったか？ ...6,000円(現状)でいい(12人60%) 5,000円は欲しい(5人25%)

Q地域通貨券「こだま送品券」の感想を ...地元にお金が流れてよかった(15人75%)

Q今後も「山の宝でもう一杯！」プロジェクトに参加しますか？ ...はい(17人85%)

平成24年2月11日(土)、津和野町で事業報告会を行いました。
出荷者3名の体験談も含めて、事業全体の報告、県内他地域での取
り組み情報、来年度の実施予定等が報告されました。会場との質疑応
答も活発に行われました。参加80名。



今回のシステム

- 町 ~ 「山の宝でもう1杯」プロジェクト本体を予算化して運営主体となり事業を実施
- NPO ~ 技術研修等サポート部分の運営をコーディネート・人材協力・助成金を活用した資金協力
- 県 ~ 運営を技術・知識・人材等でサポート